

# 株式会社キヤットアイ

## 世界初、太陽電池搭載の デジタルスピードメーター

自転車のリフレクター（反射板）やスピードメーター、ライト関係等自転車部品のメーカーであるキヤットアイのポリシーは、「オンリーワンではなくナンバーワンを目指す」ことだ。「日本で一番高い山は富士山、だが二番目は知られていない。一位と二位の差はそれほど大きい」と津山晃一社長は言う。リフレクターが警視庁性能テストで一位に輝いたのをはじめ、世界初という太陽電池搭載



リフレクター

のサイクロコンピュータ・デジタルスピードメーターの開発、心拍数や脈拍を測定できるフィットネス向け製品の開発、グッドデザイン賞受賞と華々しい実績を持つ。現在、同社のリフレクターのシェアは日本で73%、アメリカ72%、世界でも56%と業界トップに君臨している。

### 自転車部品業界の牽引役

その背景を津山社長は「単純な部品に満足せずに常にその時代の最先端のものを導入したこと、海外にシェアを伸ばしているのが当社の強み。幅広い分野に広げずに、得意分野を深めたことで品質が向上した」と語る。

# 最先端を行く 自転車パーツメーカー



デジタルスピードメーター

プラスチックが出始めた頃には、ガラス製が主流だった反射板をプラスチックに転換したり、デジタルスピードメーターやハロゲンライト、LEDライト等自動車部品で使われるものを、いち早く自転車に採用したりしてきたのだ。

輸出が6割以上と海外ネットワークを持つ同社は、それぞれの国の規格や法律にも精通している。特に道路交通法が厳しいドイツにおいて、現地企業よりも先に規格に合致するLEDライトを開発した。まさに自転車部品業界を牽引するパイオニア企業なのだ。

### ユーザーの声を徹底収集 アウトドアスポーツの聖地に サービスセンターを設立

常に先を読み新しいものを導入するには、市場の声をキャッチする必要があるが、同社の開発力の根底には、ユーザーの声を徹底して拾い上げるカスタマーサービスの充実がある。

例えば、ツール・ド・フランスに出場する選手たちがトレーニングする場所として有名な米国ボルダーにサービスセンターを設立。全米で単位面積あたり、もっとも自転車販売店の数が多いところで、小売店や消費者のクレームや要望も集約できるのだ。国内においては、製品サービス課でエンドユーザーの声を拾い上げる。生の声が反映できることが、他社との差別化につながっている。

### 自転車好きのアイデアを活かす

生産拠点がそれぞれの得意分野を持つことも、同社の強みだ。リフレクターに特化した富田林工場では、合理化された組立設備を持ち、年間2億個を生産。金型は国内で、増産は中国で使い分けている。

「当社の社員の中には、うちの商品を愛用していた自転車好きが全国から入社を志望して来ています。彼らの思いやアイデアをもっと活かしていきたい。それを突き詰めていくことがものづくりだと思っています」。

### 主な事業内容

自転車部品（リフレックスリフレクター）、自転車付属品（ランプ・スピードメーター・サイクルミラー等）の製造・販売等



津山 晃一さん  
代表取締役社長

株式会社キヤットアイ

Company  
Profile

住所 / 〒546-0041  
大阪府大阪市東住吉区桑津2-8-25  
創業 / 昭和21年10月  
設立 / 昭和29年2月  
資本金 / 5億3,550万円  
従業員 / 235名（平成21年1月現在）  
TEL / 06-6719-6001  
FAX / 06-6719-6002

全国  
19

関西  
19

ISO 9001

<http://www.cateye.co.jp/>